

# 乳房超音波検査



## 乳房超音波検査って？

超音波の跳ね返り具合によって画像を作り出して検査します。  
腫瘍の有無や腫瘍がどんな成分できているのかを、ある程度予測することができます。  
超音波は「音」を使っているため被爆がなく何回も検査でき、痛みもありません。  
また、若年者など乳腺の多い人にも適しています。



## どんな事がわかるの？

- ① 腫瘍があるかないか
- ② 良性か悪性か ※
- ③ 病変の広がり具合
- ④ 近くのリンパ節が腫れてないか。



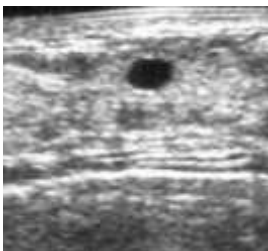
※超音波だけでは良性・悪性の判断ができない場合もあります。  
そのため、マンモグラフィとの併用をお勧めします。



## 乳房超音波検査ではどんなものが見えるの？

### [ 嚢胞 ]

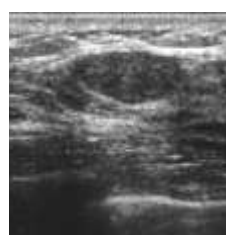
水分の入った良性の袋状のもの。



真っ黒に写るのは水分が多い所です。超音波が跳ね返らず、通り抜けるため真っ黒に写ります。

### [ 線維腺腫 ]

乳房の成分が過剰に増殖してできた良性腫瘍。20～30歳代に好発します。



嚢胞と違い、線維が超音波をある程度跳ね返すため嚢胞よりも灰色に写ります。

この他にも様々なものを見つける事ができます。

必ずしも[しこり=乳癌]ではありません。  
嚢胞や線維腺腫も良性ですが、[しこり]のように触れることがあります。  
逆に乳癌が必ずしも[しこり]として触れるわけではありませんので、  
定期的な画像検査が必要です。

癌かも？と不安でいるよりも  
お早めに検査をお受け下さい。

当院では女性スタッフが担当致します。  
お気軽にどうぞ。

